

種類		財務 インパクト ※2	リスク	機会	対応策	
物理的	急性	異常気象の深刻化・増加	大	<ul style="list-style-type: none"> ●甚大な自然災害によるオペレーションコストの増加 ●災害による機体・施設の被害復旧コストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種中核機能のバックアップ系統整備や安否確認システムの活用、定期的な防災訓練の実施等、より高度なBCPの確立 ●災害耐性の高い施設、設備等への更新 	
	慢性	降雨・気象パターン変化		<ul style="list-style-type: none"> ●影響を受ける地域への運航継続が困難になることによる収入の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ●航空機観測データ活用事業の展開 ●航空機観測データ活用事業の展開に向けたJAXAとの協働研究 	
移行政策・法規制・技術	CO ₂ 削減に向けた対応(航空機) SAF 新技術 クレジット		大	<p>【SAF^{※3}】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2040年頃まではSAF価格の高騰によるコストの増加、調達不足による運航制限等による収入の減少 <p>【新技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次世代航空機（水素・電力等）の導入にかかるコストの増加 <p>【クレジット^{※4}】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クレジットの利用によるコストの増加 <ul style="list-style-type: none"> ・オフセット量の増加 ・排出権の需要超過による価格高騰 	<p>【SAF】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦略的な購入・契約・投資による、優先的な調達と安定供給の享受 <p>【新技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●燃費効率の向上による、燃油費の低下 <p>●DAC^{※5}等CO₂除去技術への投資による、技術革新の機会創出や優先的な調達</p> <p>【クレジット】</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<p>【SAF】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安定的且つ安価な調達に向けた戦略的な購入契約の締結 <p>●国産SAFの量産体制構築に向けた戦略的投資、サプライチェーンの整備に向けた官民・産業間連携の強化</p> <p>●お客様と共同で取り組む「SAF Flight Initiative」等のオフセットコストを利用者にご負担頂くスキーム展開によるSAF購入費用の一部補てん</p> <p>【新技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空港インフラ整備に向けた政府、関係各所への働きかけの実施 <p>●新技術を導入した航空機の実現に向けた航空機メーカーとの共同研究プロジェクトへの参画</p> <p>●高品質且つ永久的なCO₂除去技術の導入に向けた戦略的な投資</p>

種類		財務 インパクト ※2	リスク	機会	対応策
移行 政策 ・法規制 ・技術	CO ₂ 削減に 向けた対応 (航空機)	大			<p>【クレジット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適格クレジットの安定的且つ安価な調達手段の確保 ●SAF/クレジットのベストミックスによるコストインパクトの最小化
	SAF 新技術 クレジット				
	CO ₂ 削減に 向けた対応 (航空機以外) 車両 ^{※7} 燃料 (軽油) ※7 空港ハンドリング 車両	中	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEV^{※6}化置き換えコストの増加 ●ZEV化や必要インフラ整備への遅れによる、燃油費やオフセットによるコストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEV化への置き換えによる、燃油費やオフセットのコストの減少 ●無人自動運転などの新技術の進展に伴う、空港業務の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ZEV化に対する助成策に向け、業界、団体と協働した政府への継続的な働きかけ ●ZEV化等促進および空港のインフラ整備に向けた政府や関係事業者との協働 ●次世代バイオ燃料等の代替燃料の調達やサプライチェーンの構築
市場 ・評判	訴訟/罰金/ 税制	中	<ul style="list-style-type: none"> ●各国の法規制の未達成による罰則・罰金の発生 ●気候変動対策の遅れに対するステークホルダーからの圧力 ●カーボンプライシング（炭素税、排出権取引）の導入による、物価上昇に伴うコストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●代替燃料の使用に対する補助金や燃料関連税制の優遇措置の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動への適切な対応と情報開示 ●規制・税制の緩和に向け、業界、団体と協働した各國政府への継続的な働きかけ

種類		財務 インパクト ※2	リスク	機会	対応策
移行 ・ 評判	消費者意識・選好の変化	中	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動対応の遅れによる市場シェアの低下 ●国内における他の輸送手段への転換 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的な気候変動対応によるブランド価値の向上と、それに伴う顧客の獲得による売上の増加 ●環境保全に敏感な若い世代の人財確保 ●リアルな移動を伴わない新規事業の成長 	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動への適切な対応と情報開示 ●継続的な社会との対話を通じたニーズの把握と戦略への反映 ●顧客の理解と協力を得ながら進める施策の展開 ●事業ポートフォリオの多角化 ●新規事業の成長に向けた様々なステークホルダーとの協働、戦略的な投資 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな移動手段 「アバター」 ・新たな運航事業 「空飛ぶクルマ」 ・新たな輸送インフラ 「ドローン物流サービス」
	資金調達		<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動対応への遅れによる資金調達の難化 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的な気候変動対応による、ESG投資の取り込みや融資による資金調達の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ●投資家との継続的な対話を通じたニーズの把握と適切な対応 ●国際的な枠組みに則った情報開示

※2 財務インパクト：特定したリスクが起こった場合の財務へのインパクトを、「大」「中」「小」の3段階で定性的に評価し、影響度の大きい「大」「中」を記載しています。

大：100億円/年以上、 中：10億円/年以上～100億円/年未満、 小：10億円/年未満

※3 SAF (Sustainable Aviation Fuel)：原材料の生産・収集から燃焼までの過程で、CO₂の排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料

※4 クレジット：CO₂削減効果を定量的に示し、排出権として取引できる形態にしたもの

※5 DAC (Direct Air Capture)：大気からCO₂を直接回収する技術

※6 ZEV (Zero Emission Vehicle)：走行時にCO₂などの排出ガスを出さない車両
(電気自動車 (EV)・燃料電池自動車 (FCV)・プラグインハイブリッド自動車 (PHV))